

# 令和2年第32回定例公安委員会会議録

開催日時 令和2年11月19日(木) 午前11時10分～午後2時30分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

### 2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 津田警察本部長 川島警務部長 柴田首席監察官  
河本生活安全部長 長谷高刑事部長 保田交通部長  
谷村警備部長 本庄警察学校長 濱口情報通信部長  
細田警務部参事官

(事務局等～松本公安委員会補佐室長、中田補佐、総務課員)

### 3 議題事項

運転免許取消し処分に係る審査請求の裁決(警務部)

警察本部から、運転免許取消し処分に係る審査請求について、本件請求を棄却する旨の裁決案の説明がなされた。

#### 委員

事前に説明を受けており、このとおり決裁する。引き続き、適正な行政処分手続を行っていただきたい。

### 4 報告事項

- 警察音楽隊発足40周年記念「第19回ふれあいコンサート」の開催結果(警務部)
- 11月補正予算案(警察関係)の概要(警務部)
- 「警察本部行事予定管理システム」の構築(警務部)

○令和2年年末の交通安全県民運動の実施（交通部）

○関係機関との合同訓練の実施（警備部）

（1）警察音楽隊発足40周年記念「第19回ふれあいコンサート」の開催結果（警務部）

#### 警察本部

本年11月3日、とりぎん文化会館梨花ホールにおいて、第19回ふれあいコンサートを開催した。

ふれあいコンサートは、平成12年から年1回、県内の東・中・西部地区において順次開催している。本年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止も検討したが、多くの県民から開催を熱望する声が寄せられたことや、警察音楽隊発足40周年の節目の年でもあることから、感染予防対策を講じた上で開催することとし、当日は約920人の方に御来場いただいた。

コンサートは、吹奏楽演奏やマーチングステージのほか、ゲストに県立鳥取東高等学校書道部をお招きし、音楽隊の演奏に合わせて書道パフォーマンス披露していただいた。このパフォーマンスは、新聞、テレビ等で取り上げられることが多く、広報効果や採用募集活動につながるものと考えている。そのほか、開演前にはサイバー犯罪対策課による広報を行ったり、合間には音楽隊40年を振り返るスライドショーを流した。

終了後にアンケートを行ったところ、温かい意見が多く、おおむね好評であった。今回いただいた意見、要望等については今後の参考とする。

なお、来年度は西部地区で開催予定である。

#### 委員

音楽隊員は、業務と訓練の両立で苦勞することがあるかもしれないが、引き続き頑張っていたきたい。

#### 委員

報告のとおり、高校生にも出演していただくことで、採用広報にもつながる良い取組だと思う。

#### 委員

このようなイベントを通し、警察に親近感を感じてもらえれば良いと思う。

（2）11月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

#### 警察本部

今回の補正予算案は 航空隊整備士新規養成業務委託に関して警察職員費として312万円を措置するほか、令和3年度以降の各種業務委託等のため、約5億

2, 649万円の債務負担行為を設定する。

航空隊整備士新規養成業務委託については、県警察で保有する航空機1機の稼働維持には整備士3名の確保が必要であるが、現員は2名であり、両名とも数年以内に退職を迎える。一般公募を行うも応募がない状況であり、早急に整備士の確保が必要であることから、令和3年度から部内選考により3名を国内の航空整備専門学校に3年間入校させて国家資格を取得させ、運航体制の確保を図ることとしており、入校前に必要となる入学金等を本年度中に支払う必要があるため、補正予算で措置する。

債務負担行為については、道路交通法の規定に基づき公安委員会が実施する行政処分者講習などの民間委託は、令和3年4月から業務を開始するために本年度中に契約を締結する必要がある。また、警察本部庁舎消防設備保守などは、複数年契約をすることで安定した業務履行、事務効率化及びコスト削減が期待できることから設定するものである。

11月補正後の警察予算総額は、約170億3,166万円である。

#### 委員

整備士の学校はどこか。

#### 警察本部

岐阜県と埼玉県しかないため、いずれかに入校することとなる。

#### 委員

航空隊運用のためには必要不可欠なことなので、しっかりと学び、資格を取得していただきたい。

### (3)「警察本部行事予定管理システム」の構築（警務部）

#### 警察本部

これまで、警察本部内の幹部、各所属の行事予定表については統一した様式がなく、各所属の担当者がそれぞれ作成したものを活用して情報共有を行っていたが、この度、イノベーション取組の一環として「警察本部行事予定管理システム」を構築し、データベースで行事予定を一元管理し、職員の利便性及び業務の効率化を図る。

運用開始は本年12月1日からであり、基本的には全職員が閲覧可能である。

このシステムを活用することにより、担当者が入力する労力がなくなるほか、入力後すぐに反映されるため、最新の行事予定を確認することができることから、職員の負担軽減と業務の効率化につながる。また、各部ごとで管理していた行事予定を他部の職員でも確認することができたり、会議メンバー等のグループ分けも設定できるなど、高い利便性が認められる。

#### 委員

警察はアナログな面がある。今回、職員の負担軽減になるという点は良いと思う。

#### (4) 令和2年年末の交通安全県民運動の実施（交通部）

##### 警察本部

本年12月14日から同月23日までの10日間、年末の交通安全県民運動が実施される。

この時期は、1年を通じて最も日暮れが早く、除雪等による道路環境の悪化による交通事故や、忘年会等で飲酒機会が増え、飲酒運転による交通事故の発生が懸念される。そのため、反射材用品の普及啓発や前照灯の早期点灯、飲酒運転の根絶等を推進するなど、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けてもらうことにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として実施される。

運動重点は、夕暮れ時と夜間の交通事故防止、自転車の安全利用の推進、飲酒運転の根絶及び横断歩道における歩行者保護の徹底である。期間中の交通安全日として、12月15日を「交通安全にみんなで参加する日」及び「交通マナーアップ強化日」とし、県民の交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る。

運動初日には鳥取警察署が警察音楽隊による交通安全パレード、米子警察署がオープンカーを活用したパレードを実施するなど、各署において出発式等の行事を予定している。本年は新型コロナウイルス感染症対策に配慮して活動してきたが、引き続き、関係機関、団体と協議しながら活動を展開していく。

#### 委員

運転免許の行政処分では、飲酒運転による取消しが絶えないと感じている。地道な活動であるが、酒類販売店への呼び掛けなども継続して行っていただきたい。

#### 委員

飲酒運転は重大な交通事故につながる。引き続き、広報活動等をよろしく願います。

#### 委員

慌ただししい時期であるが、職員の体調管理にも配慮していただきたい。

#### (5) 関係機関との合同訓練の実施（警備部）

#### 警察本部

2件の訓練予定について報告する。

11月25日、陸上自衛隊米子駐屯地において、緊急事態における自衛隊との連携要領の検証を目的として、治安出動に係る自衛隊との共同実動訓練を実施する。この訓練は、平成14年に陸上自衛隊第13旅団と鳥取県警察本部長との間で締結した協定に基づき実施するもので、今回で7回目の実施となる。

参加者は、当県警察、島根県警察、陸上自衛隊等約60人を予定している。

訓練は、武装工作員の上陸容疑事案の発生を受け、内閣総理大臣が自衛隊に対して治安出動を下令したとの想定により、現地共同調整所の運営要領及び共同検問所設置要領の図上訓練のほか、資機材展示訓練を行う。

11月26日、境夢みなとターミナル及びその周辺において、水際におけるテロ対応能力の向上を目的として、境港港湾危機管理テロ対策訓練を実施する。

参加者は、境海上保安部、県警察等の境港港湾危機管理コアメンバーなど11機関約100人を予定しており、今回が13回目となる。

訓練は、国際旅客船A号の乗客に、国際テログループのメンバーと思料される者が混じっているとの想定により、情報伝達・非常参集訓練、入国審査、テロリスト制圧訓練、爆発物処理訓練等を行う。

事案発生時は関係機関と連携を図り、適切に対応できるよう訓練に当たりたい。

#### 委員

本年は、県内で不審船への対応はあるか。

#### 警察本部

県警察としては、木造船の漂着等により2件対応している。

#### 委員

テロ対策訓練は非常に大事な訓練だと思う。実際に発生した場合、テロリストを絶対に確保しなければならない。真剣に訓練に臨んでいただきたい。

#### 委員

来年はオリンピックが開催されるので、特にテロを警戒する必要がある。

いつ事案が発生するか分からないため、地道な活動だが、関係機関との連携や訓練を重ねていただきたい。

## 5 その他

○被保護者の死亡（生活安全部）

○交通死亡事故の発生（交通部）

## (1) 被保護者の死亡（生活安全部）

### 警察本部

本年11月15日、鳥取警察署保護室において保護中の62歳男性が同室内で自殺を図り、病院に搬送して治療中であったが、本日死亡した。本件は死因も含め事案調査中であるが、各署には施設点検も含め、再発防止を指示した。

### 委員

全署への指示を徹底し、再発防止に努めていただきたい。

## (2) 交通死亡事故の発生（交通部）

### 警察本部

本年11月17日午後2時15分頃、東伯郡北栄町地内国道9号において、車両4台が絡む追突交通事故が発生し、1番最初に追突された車両の同乗者である64歳女性が亡くなられた。

現在、県西部に交通死亡事故多発警報が発令され抑止対策を実施中であるが、東部・中部においても街頭活動強化等の対策を講じている。

本年の交通死亡事故は、前年同期より減少しているものの16件・16人であり、西部地区が多い傾向にある。

### 委員

引き続き、各種対策をよろしく願います。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく聴聞1件を実施し、量定を決定した。

### 3 報告事項

- ・ 審査請求関係
- ・ 訟務案件

#### 4 決裁

- ・ 運転免許取消し処分に係る審査請求の裁決
- ・ 鳥取県公安委員会公印規程の一部を改正する規程
- ・ 公安委員会告示

#### 5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

#### 6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。